

平成26年度 志教育全体計画

宮城県中新田高等学校

校訓	
自主・誠実・協和	

本校の教育目標	
(1) 心身ともに健康で、自ら学ぶ姿勢を持った情操豊かな人間を育てる (2) 自然と仲間と労働を愛する人間を育てる (3) 地域社会の発展に貢献しうる実践力を持った人間を育てる (4) 国際的視野に立って推進する社会を生きていく資質を持った人間を育てる	

生徒の実態、教師の願い	
(生徒の実態)	素直で、真面目な生徒が多いが、自主性・積極性がやや不足している面がある。進路希望は進学と就職で同程度である。学力は県全体の中位から下位層である。
(教師の願い)	基本的な生活習慣と規律を遵守する姿勢を身に付ける。学校生活に意欲的に取り組み、有意義な学校生活を送る。また、基礎的な学力と自ら学ぶ姿勢を身に付け、各々の進路に対応できる知識と教養を身につける。

保護者や地域の願い	
(保護者の願い)	子どもが意欲的に学校生活を送りながら、社会で通用する基本的な知識、礼儀、規範意識を身に付けてほしい。子どもの希望する進路を達成してほしい。
(地域の願い)	学校と地域が積極的な関わりを持つことにより、地域人として社会に貢献できる人によって、将来地域を活性化させる人材に育てほしい。

「志教育」の目標	
(1) 生徒一人一人が、様々な人との関わりの中で、豊かな情操と職業意識を身につけ、自らの生き方を求める力を養う。 (2) 自らの将来を主体的に考え、その実現に向けた具体的な設計及び実践力を養う。 (3) 地域に生きる一人の人間としての自覚を持ち、社会に貢献する資質と能力を養う。	

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もつめる」	社会での役割を「はたす」
<ul style="list-style-type: none"> 学校生活における友人、先輩、後輩、教師との関わりの中で、他者理解と自己理解を深め円滑な人間関係を築く能力を養う。 地域の人々や社会人との関わりの中で、地域社会における自らの役割や価値を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習、教科外学習、体験学習を通して自らの生き方を見つめる能力を養う。 教科学習の中で養われる能力を自覚させ、それを主体的に高めようとする姿勢を養う。 キャリア教育を通じ社会に対する視野を広げると共に、自らはすべき役割を見つめその能力を身につけようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動やボランティア活動に参加し、地域の活性化に寄与することで、協働する喜びと社会の一員としての自覚を促す。 地域での体験学習を通して、将来自分が社会の一員として果たす役割について考えを深めさせる。 社会活動に貢献することにより自己有用感を高め、より積極的な社会への関わりを強めさせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意味を理解させ主体的な学習態度を育てる。 各教科の基礎的・基本的な知識と技術を定着させ、さらなる学習を進める意欲を喚起する。 グループ学習、調べ学習、発表学習等の活動を通じ、授業への積極的な参加を促すと共に、コミュニケーション能力や協調性・責任感を養う。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣や礼節を身につけさせ自律心を養う。 自己の役割と責任を重んじそれを果たす姿勢を養う。 他者を理解する心を養い、奉仕の精神をもって公共の福祉と社会の発展に寄与する態度を養う。 勤労の意義を理解させ、勤労の尊さを重んじる生き方を基に、社会の変化に主体的に対応できるとともに、自らの役割と責任を果たす姿勢を身につけさせる。
学習の総合的な時間	<ul style="list-style-type: none"> 進路講話、進路ガイダンス、出前講座を通じ様々な分野やその知識にふれることにより、自らの課題と目標を見つける参考にする。 加美町産業研究のなかで地域理解を深めると共に、地域社会及び地域産業が求める人材について知る。 職場体験活動で労働の実際を知ると共に、主体的に取り組む資質や態度を養う。また、企業の方とのふれあひの中から、社会から求められる人間像を学ぶ。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 様々な学校行事や部活動・委員会活動・生徒会活動などを通じ、互いを尊重し協力し合う態度を養うとともに、集団や社会の一員として自己を表現し、自主的に活動する能力を育む。 活動への積極的な取り組みを促すことで成功体験をさせ自己肯定感を育む。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 教職員集団が、学校生活全般を通して県下一高い服装モラルの学校、県下一あいさつのできる学校、県下一きれいな学校を目指すという共通理解のもと、生活指導や美化指導を行うことで、生徒自身に誇りを持たせる。 落ち着いた環境の中で規範意識の醸成を目指し学習環境を整えることで学習意欲を向上させる。

各学年の取組内容	
1年	①HR合宿(宿泊オリエンテーション) ②二者面談(4月) ③応援練習(4月) ④スタディサポート分析会(4月) ⑤進路講話(5月) ⑥ネット被害対策講演会(6月) ⑦球技大会(7月) ⑧三者面談(7月) ⑧夏期課外(8月) ⑩文化祭(9月) ⑪加美町産業研究(10月～11月) ⑫公務員課外(10月～) ⑬冬期課外(12月) ⑭先輩の話を聞く会(3月) ⑮百人一首大会(3月) ⑯システム手帳による学習計画・進路計画(通年)
2年	①二者面談(4月) ②応援練習(4月) ③スタディサポート分析会(4月) ④進路講話(5月) ⑤ネット被害対策講演会(6月) ⑥球技大会(7月) ⑦三者面談(7月) ⑧夏期課外(8月) ⑨インターシップ(7月) ⑩文化祭(9月) ⑪就職セミナー(10月、3月) ⑫大学出前授業(11月) ⑬修学旅行事前学習(9月～11月) ⑭修学旅行(12月) ⑮冬期課外(12月) ⑯先輩の話を聞く会(3月) ⑰百人一首大会(3月) ⑱小論文課外(3月) ⑲公務員課外(通年) ⑳システム手帳による学習計画・進路計画(通年)
3年	①二者面談(4月) ②応援練習(4月) ③進路別ガイダンス(4月) ④進路別学習(4月～9月) ⑤平日課外(6月～) ⑥球技大会(7月) ⑦小論文講習会(5、7月) ⑧三者面談(7月) ⑨就職模擬面接(6月～9月) ⑩夏期課外講習(7月) ⑪社会人模擬面接(8月) ⑫就職希望者事業所訪問(7～8月) ⑬オープンキャンパス参加(7～8月) ⑭小論文個別指導(6月～) ⑮文化祭(9月) ⑯冬期課外(12月) ⑰入社前準備セミナー(3月) ⑱公務員課外(～9月) ⑲システム手帳による学習計画・進路計画(通年)

家庭との連携	
保護者へ授業公開・学校便り・ホームページ等を通じて学校の活動を報告し、学校評価アンケートやPTA活動で意見や要望を集約し、今後の教育活動に反映させる。学校と家庭との連携を深め、円滑な学校運営を図る。	

地域・企業との協働	
初午まつりへの清掃ボランティア、福祉ボランティア、学習支援ボランティア、地域清掃ボランティア、交通安全運動、防犯運動等への参加を通じ、地域から愛され信頼される学校を目指す。それらの活動を通じ、地域社会の一員としての役割を自覚し社会貢献に積極的にかかわろうとする姿勢を育成する。また、加美町産業研究、インターンシップ、社会人模擬面接を通じ、地域及び地域産業の理解を深め社会人としての基礎力を養う。	